



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月10日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東
 コード番号 4576 URL <https://www.dwti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 川上 哲也 (TEL) 052-218-8785
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	201	33.1	△91	—	△82	—	△82	—
2020年12月期第2四半期	151	△58.3	△100	—	△111	—	△96	—

（注）包括利益 2021年12月期第2四半期 △82百万円（－％） 2020年12月期第2四半期 △112百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	△2.83	—
2020年12月期第2四半期	△3.69	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	2,604	2,113	81.0
2020年12月期	2,737	2,163	78.9

（参考）自己資本 2021年12月期第2四半期 2,110百万円 2020年12月期 2,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340	△4.4	△580	—	△580	—	△530	—	△18.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	29,358,600株	2020年12月期	29,251,100株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	100株	2020年12月期	100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	29,308,623株	2020年12月期2Q	26,284,892株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料について）

- ・四半期決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

自社創製品については、「グラナテック®点眼液0.4%（以下、「グラナテック」）」の国内販売状況は順調に推移しております。ライセンスアウト先の興和株式会社では、同剤の海外展開を継続して検討しております。また、緑内障治療剤「H-1337」については、米国での自社開発の準備を進めております。

導入品については、「DW-1002」の欧州・米国等で上市済みの製品（製品名：ILM-Blue®、MembraneBlue-Dual®、TissueBlue™）は、ライセンスアウト先のDutch Ophthalmic Research Center International B.V.（以下、「DORC」）によって順調に販売されております。同剤のカナダについては、1月に承認取得しております。

また、株式会社メドレックスと共同開発している「DW-5LBT」については7月5日に審査完了報告通知を受領いたしました。現在、通知内容を精査し、FDA指摘事項に適切に応答すべく、対応を進めております。

その他ライセンスアウト済み開発パイプラインについては、ライセンスアウト先において開発が進められました。

研究開発プロジェクトについては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動及び他社との共同研究を推進いたしました。4月にSynthetic Gestalt株式会社との間で炎症系、中枢系疾患を対象としてAIを用いた新規のキナーゼ阻害剤の創製を目的とした共同創薬を開始いたしました。また、2019年よりユビエンス株式会社（以下、「ユビエンス」）との間で標的タンパク質分解誘導薬の創出に向けた共同研究を行っておりますが、キナーゼの分解誘導作用を有する幾つかの化合物を取得できたことから、6月に共同研究契約を延長し、資本提携いたしました。

以上の結果、売上高については、各上市品のロイヤリティ収入及びGlaukos Corporation（以下、「Glaukos」）からの研究費受領等により、合計201百万円（前年同期比33.1%増）を計上し、売上原価に9百万円（前年同期比63.3%増）を計上しました。

販売費及び一般管理費については、283百万円（前年同期比15.0%増）となりました。その内訳は、研究開発費が152百万円（前年同期比22.8%増）、その他販売費及び一般管理費が人件費及び新株予約権の権利行使等により資本金等の額が増加したことに伴う事業税（外形標準課税）の増加等により、131百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

これらにより、営業損失は91百万円（前年同期営業損失100百万円）となりました。営業外収益に為替差益11百万円を計上したこと等の結果、経常損失は82百万円（前年同期経常損失111百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は82百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失96百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下のとおりです。

(イ) 自社創製品

開発コード等		対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
リパスジル 塩酸塩水和物	グラナテック	緑内障・高眼圧症	上市	日本	興和
			申請（一部地域承認含む）	アジア	
	K-321	角膜内皮障害 （フックス角膜内皮変性症）	第Ⅱ相臨床試験	米国	興和
リパスジル塩酸塩水和物／ ブリモニジン 酒石酸塩	K-232	緑内障・高眼圧症	第Ⅲ相臨床試験	日本	興和
H-1337		緑内障・高眼圧症	第Ⅰ相/前期第Ⅱ相臨床試験	米国	自社開発

(ロ) 導入品

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先	起源
DW-1002	内境界膜剥離	上市	欧州	DORC	国立大学法人 九州大学
		上市	米国		
		承認	カナダ		
	内境界膜染色	第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬 (WP-1108)	
白内障手術	第Ⅲ相臨床試験	日本			
DW-5LBT	帯状疱疹後の神経疼痛	申請	米国	メドレックスと共同開発 (MRX-5LBT)	メドレックス
DW-1001	眼科用治療剤 (非開示)	非臨床試験	日本	ロート製薬	英国企業
未熟児網膜症治療薬 (注1)	未熟児網膜症	臨床試験準備中	日本	子会社JIT開発	国立大学法人 東京農工大学

(注1) JITは未熟児網膜症等診断薬について、アジア一部地域における独占の実施権をSplendor Health International Limitedに再許諾するライセンス契約を締結しております。

(ハ) 研究開発プロジェクト

開発コード等	対象とする疾患等	開発段階	共同研究先
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	眼科関連疾患、神経、循環器、呼吸器系疾患	基礎研究	国立大学法人 三重大学等
新規デバイス創出プロジェクト	緑内障、角膜障害、網膜疾患	基礎研究	Glaukos

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末から133百万円減少し、2,604百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から214百万円減少し、2,288百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が207百万円、流動資産のその他が7百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から81百万円増加し、315百万円となりました。主な要因は、契約関連無形資産が20百万円減少した一方で、ユビエンスへの出資により投資有価証券が100百万円増加したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から82百万円減少し、490百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から22百万円減少し、186百万円となりました。主な要因は、未払金が11百万円、未払法人税等が8百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から60百万円減少し、304百万円となりました。主な要因は、長期借入金が60百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末から50百万円減少し、2,113百万円となりました。主な要因は、新株予約権の権利行使等により、資本金及び資本剰余金が各々16百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が82百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は81.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ207百万円減少し、2,100百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は74百万円（前年同期は79百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失82百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は100百万円（前年同期は0百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出100百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は43百万円（前年同期は60百万円の支出）となりました。これは新株予約権の行使による株式の発行による収入16百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出60百万円があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期連結業績予想につきましては、2021年2月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,308,210	2,100,319
売掛金	91,877	92,958
貯蔵品	58,324	57,485
その他	44,872	37,748
流動資産合計	2,503,284	2,288,511
固定資産		
有形固定資産	5,292	4,194
無形固定資産		
契約関連無形資産	205,714	185,142
その他	2,540	2,621
無形固定資産合計	208,254	187,763
投資その他の資産	20,879	123,954
固定資産合計	234,426	315,913
資産合計	2,737,711	2,604,424
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払金	37,637	25,782
未払法人税等	18,771	10,306
その他	33,396	30,865
流動負債合計	209,805	186,954
固定負債		
長期借入金	340,000	280,000
その他	24,000	24,000
固定負債合計	364,000	304,000
負債合計	573,805	490,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	556,856	573,159
資本剰余金	2,655,571	2,671,874
利益剰余金	△1,051,280	△1,134,256
株主資本合計	2,161,147	2,110,777
新株予約権	2,758	2,692
純資産合計	2,163,905	2,113,469
負債純資産合計	2,737,711	2,604,424

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	151,482	201,594
売上原価	5,595	9,137
売上総利益	145,887	192,457
販売費及び一般管理費		
研究開発費	123,809	152,066
その他	122,955	131,616
販売費及び一般管理費合計	246,764	283,682
営業損失(△)	△100,877	△91,225
営業外収益		
受取利息	90	9
為替差益	—	11,263
その他	483	323
営業外収益合計	573	11,595
営業外費用		
支払利息	2,457	2,366
為替差損	2,414	—
支払手数料	6,033	—
その他	—	181
営業外費用合計	10,906	2,548
経常損失(△)	△111,210	△82,178
税金等調整前四半期純損失(△)	△111,210	△82,178
法人税、住民税及び事業税	797	797
法人税等合計	797	797
四半期純損失(△)	△112,007	△82,975
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,018	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△96,989	△82,975

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△112,007	△82,975
四半期包括利益	△112,007	△82,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△96,989	△82,975
非支配株主に係る四半期包括利益	△15,018	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△111,210	△82,178
減価償却費	21,609	22,333
株式報酬費用	2,475	6,591
受取利息	△90	△9
支払利息	2,457	2,366
為替差損益(△は益)	1,883	△10,177
株式交付費	—	88
売上債権の増減額(△は増加)	38,334	△1,080
たな卸資産の増減額(△は増加)	△292	838
未払金の増減額(△は減少)	△8,167	△12,015
その他	△23,184	2,348
小計	△76,183	△70,891
利息の受取額	91	9
利息の支払額	△2,311	△2,221
法人税等の支払額	△1,582	△1,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	△79,985	△74,681
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△803	—
無形固定資産の取得による支出	△421	△585
投資有価証券の取得による支出	—	△100,320
差入保証金の増減額(△は増加)	404	897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△821	△100,007
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△60,000	△60,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	16,620
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,000	△43,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,883	10,177
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△142,690	△207,890
現金及び現金同等物の期首残高	1,540,784	2,308,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,398,094	2,100,319

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

前第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

子会社への増資

当社は2021年6月17日開催の取締役会において、当社の連結子会社である日本革新創薬株式会社（以下、「JIT」）に対する増資を行うことを決議し、2021年7月27日に払込を完了しております。

（1）増資の目的

JITは、直近の経営成績及び財政状態の悪化により債務超過の状態に陥っているため、債務超過解消と財務体制改善を図るべく、当社の連結子会社であるJITに対する増資を行うことを決議いたしました。

（2）増資の概要

- ①増資金額 300,000千円
- ②払込期日 2021年7月27日
- ③資金調達方法 募集株式

（3）連結子会社の概要

名称 日本革新創薬株式会社
所在地 名古屋市中区
事業内容 医薬品の研究開発および医薬品のコンサルティング